

東京湾流域において活動するNPO法人の方々へのアンケート結果

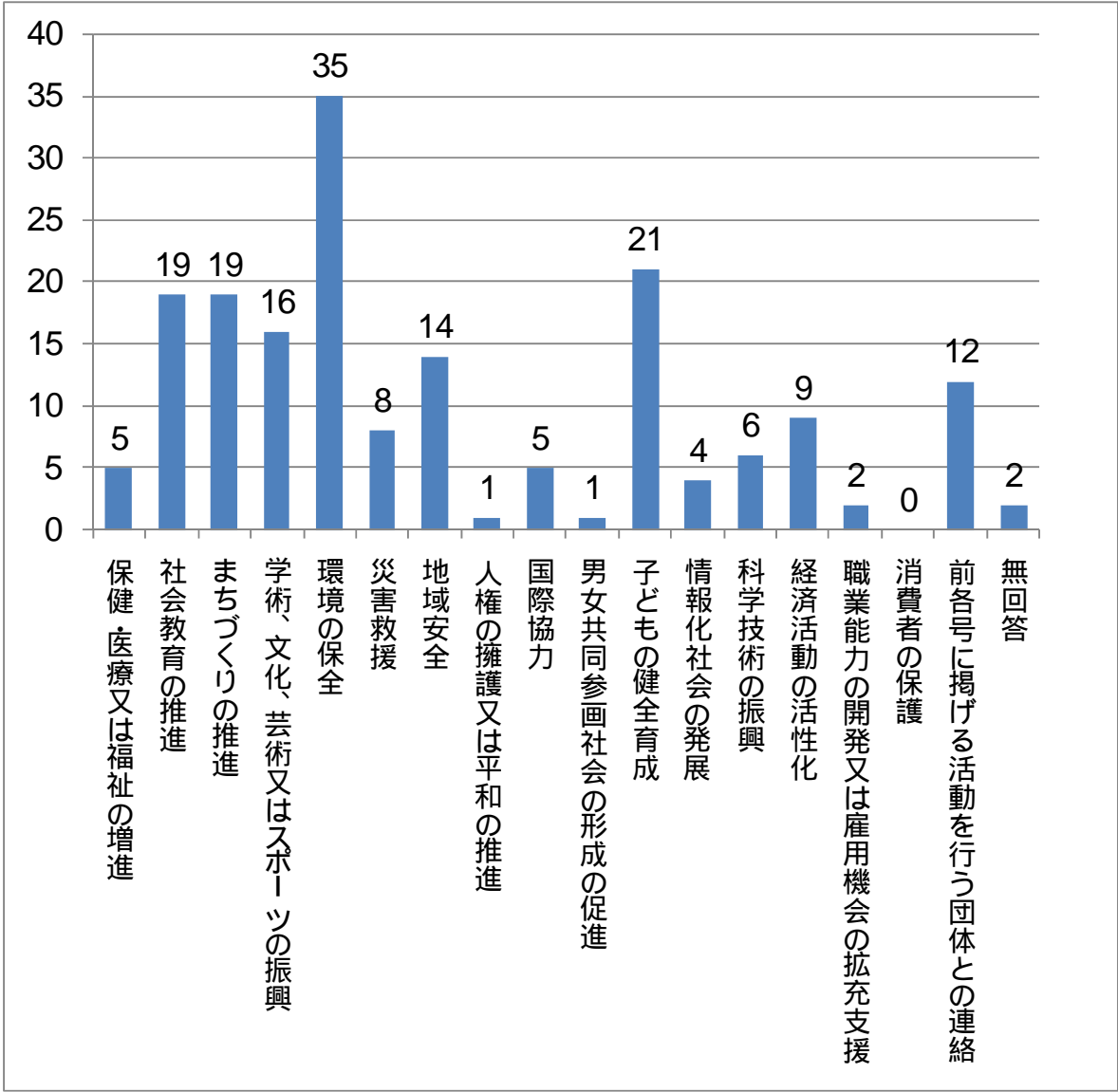
Q1 NPO活動についておたずねします。

Q1-1 貴NPO法人についてお答え下さい。

省略。

Q1-2 登録した定款に記載された活動分野についてお答え下さい。(複数回答可)

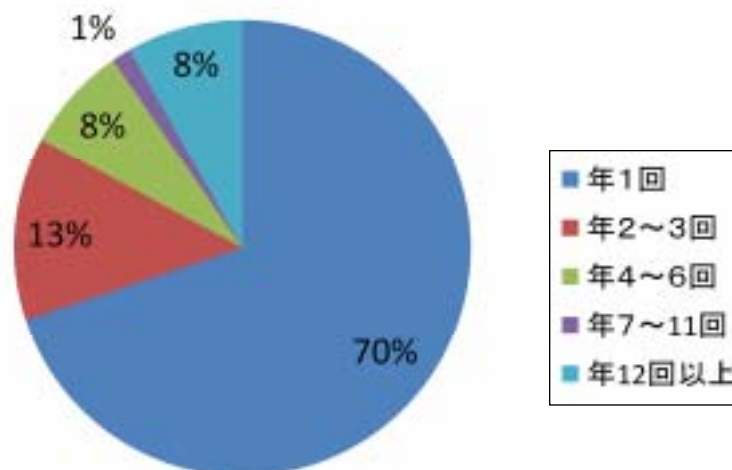
- ・ 定款では環境の保全が最も多く、次いで子どもの健全育成、まちづくりの推進と社会教育の推進となっている。



Q1-3 過去3年間に貴NPO法人が実施したイベント、研究会、勉強会等の内容についてお答え下さい。

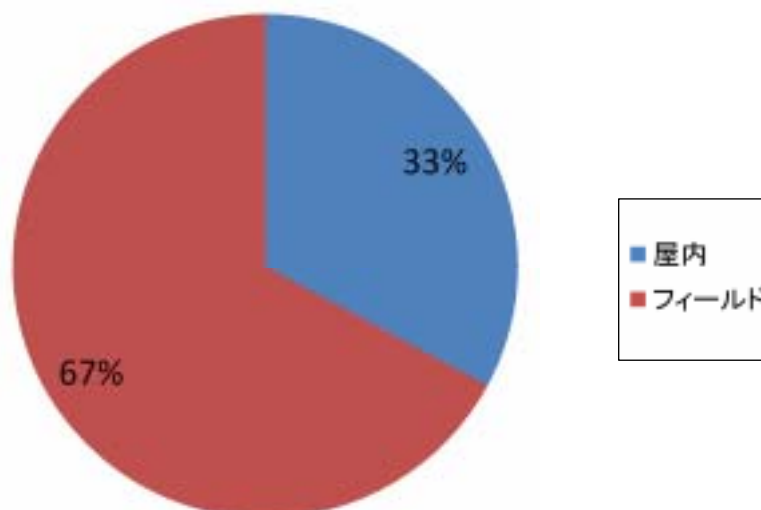
活動頻度

- ・年1回と年2～3回がほとんどを占めている。



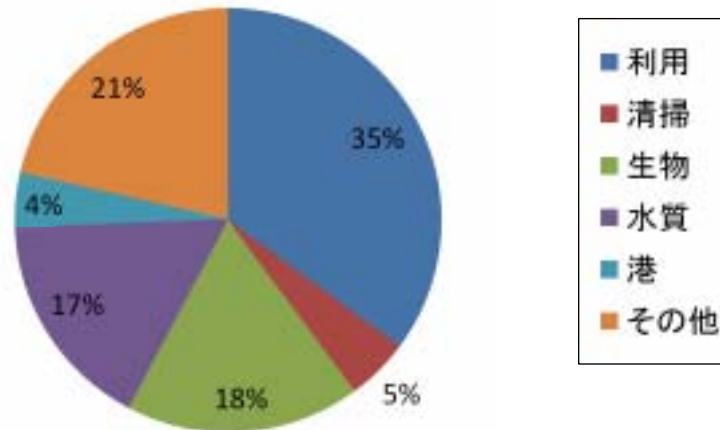
活動場所

- ・屋外のフィールドでの活動が約7割となっている。

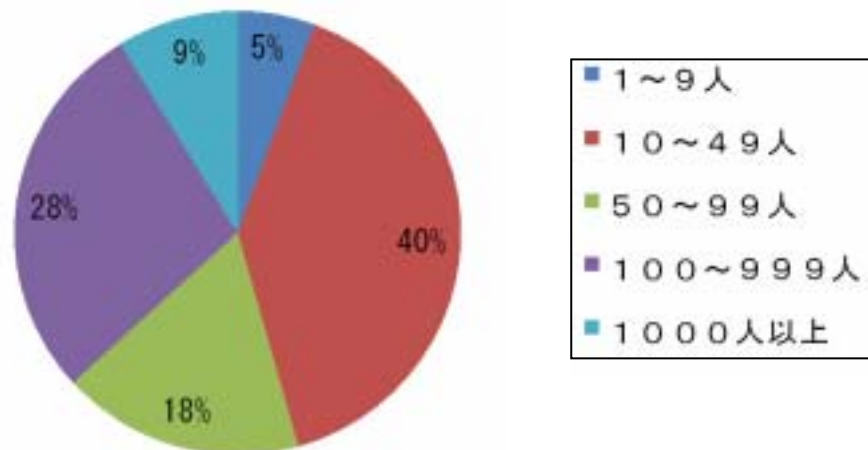


活動内容

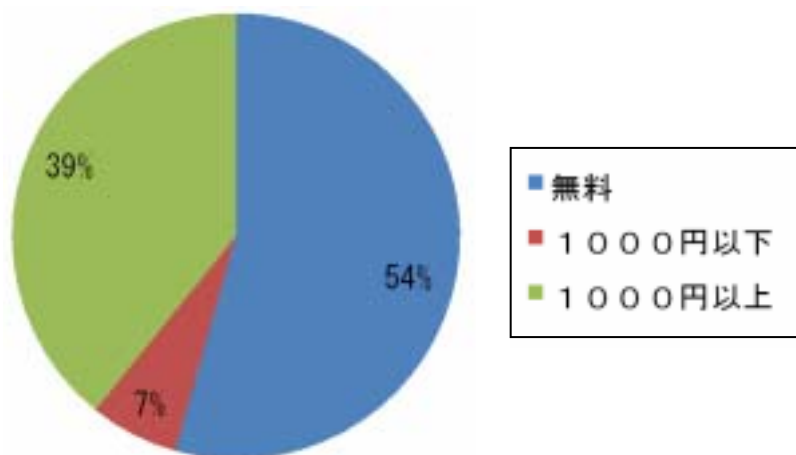
各NPOの活動内容を大きく、利用（体験レジャー等）・清掃・生物調査・水質調査、港関連・その他に分類すると、東京湾の利用が最も多く、次いでその他、生物調査の順となっている。



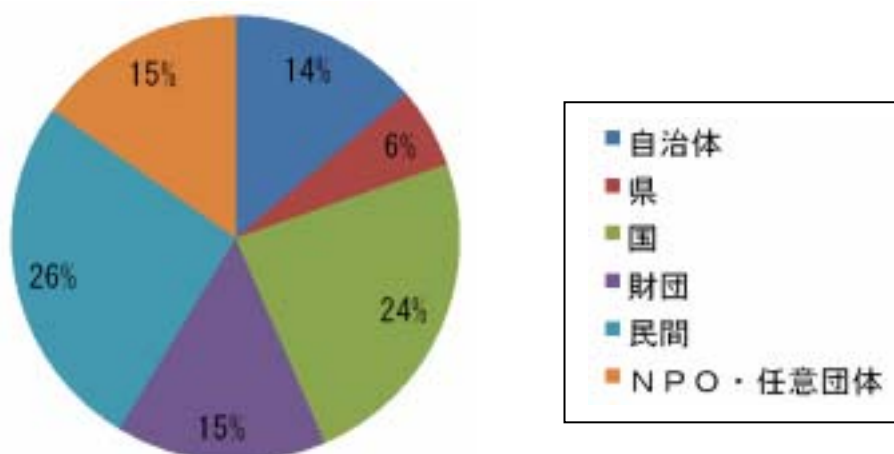
活動に参加する人数は、10～50人が最も多く40%である。次いで、100～999人である。



活動への参加費は無料が約5割で、1000円以上も4割となっている。



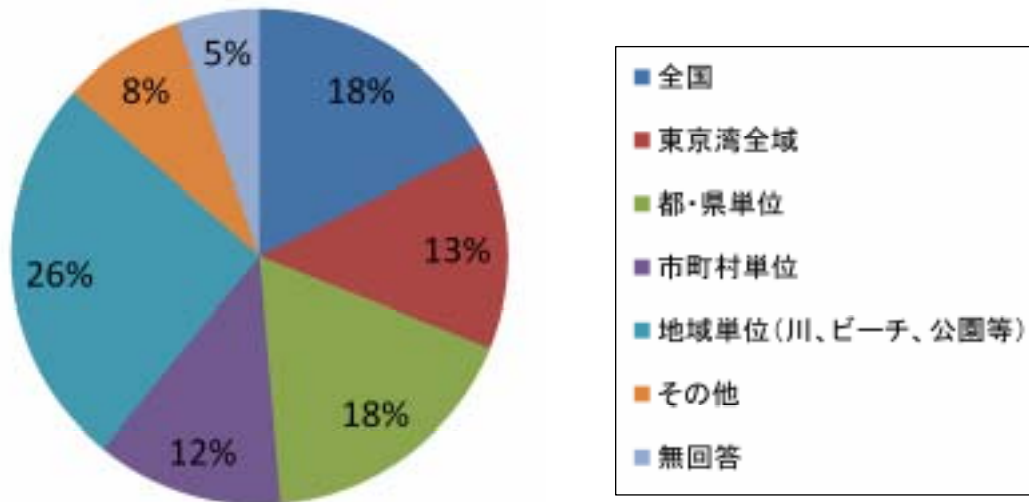
支援組織は民間からの助成が最も多く、次いで国となっている。



Q1-4 貴NPO法人は主にどのような空間規模で活動されていますか。

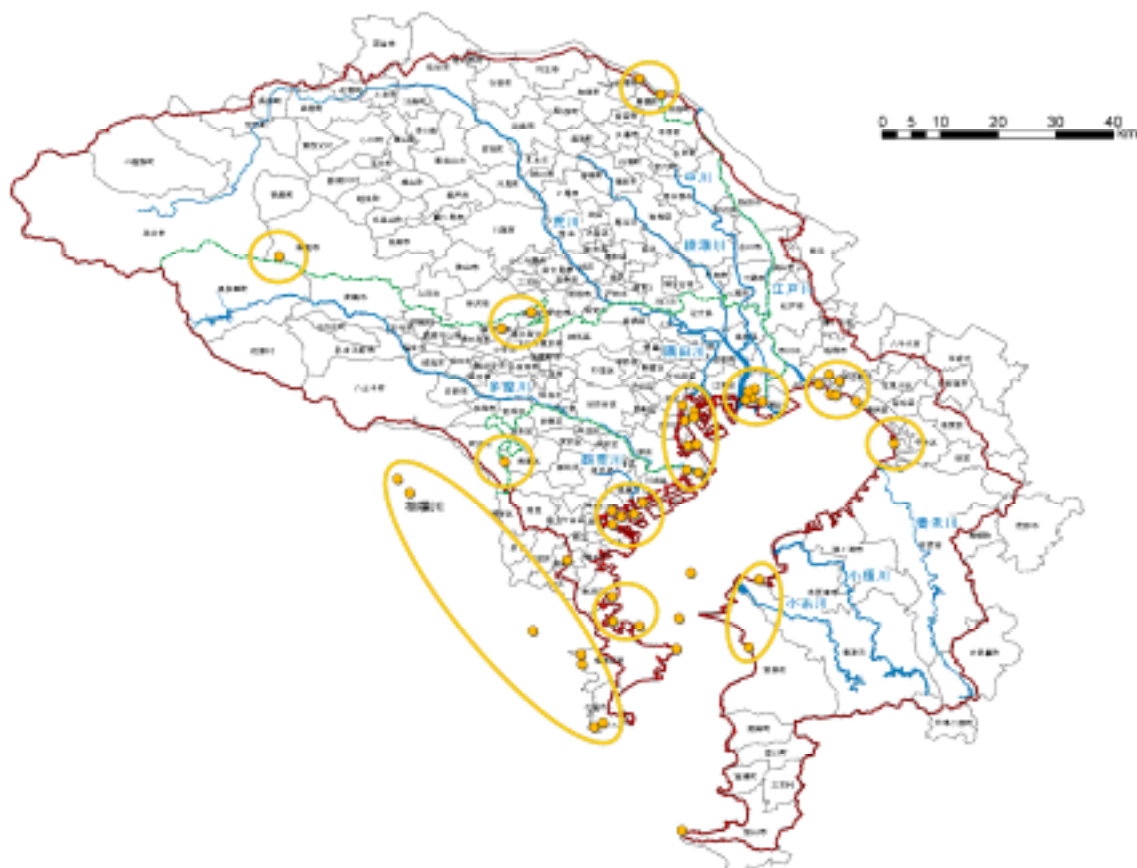
印をつけてください。(最大3つ)

- ・地域単位(川、ビーチ、公園等)が最も多く、次いで全国、都・県単位となっている。



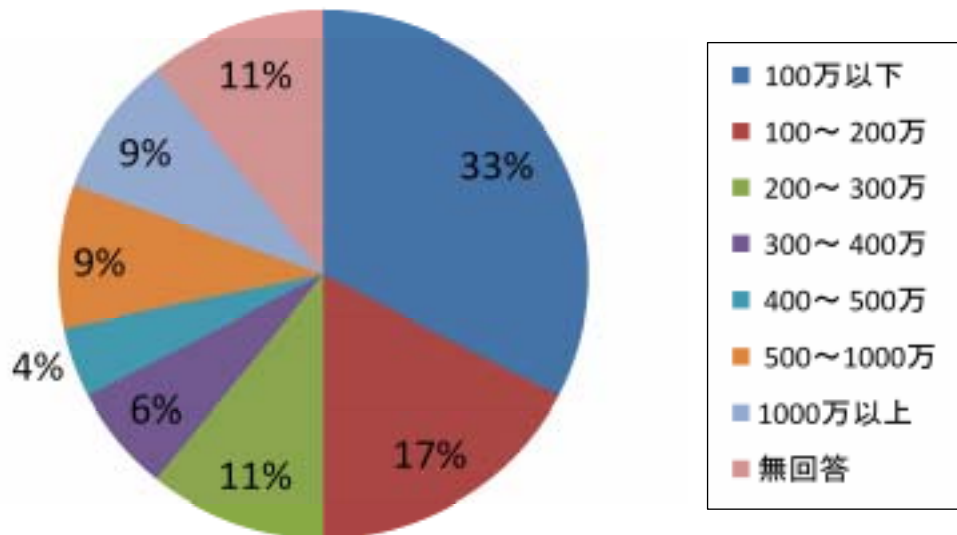
Q1-5 東京湾の流域における主な活動フィールドをお答え下さい。(3ヶ所まで)

東京湾湾奥地域、神奈川湾岸地域、千葉湾岸地域が主な活動フィールドとなっている。東京湾岸部では、京浜及び京葉工業地帯周辺では活動が見られない。神奈川県と比べて千葉県側での活動フィールドが少ない。河川域では上流部や流域外での活動も見られる。



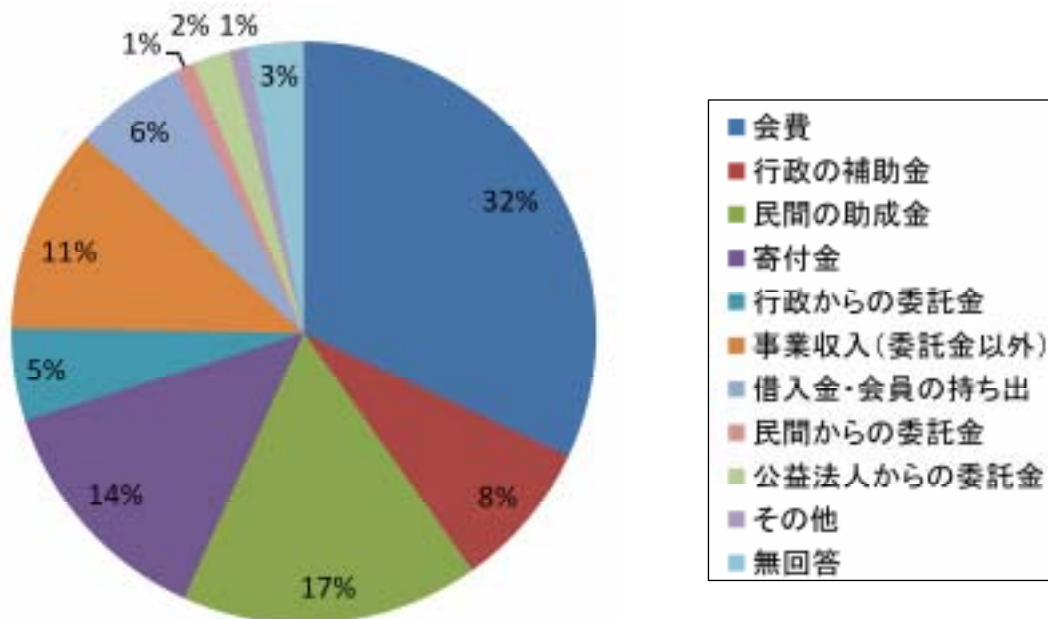
Q1-6 団体の活動資金は過去3年間の平均で1年あたりどの程度でしょうか。
 差し支えなければ一つだけ 印をつけてください。

- ・ 資金収入は100万以下が最も多く、次いで200万以下となっており、200万以下が約5割を占める。1000万以上の活動資金を得ているNPOも約1割ある。



Q1-7 団体の活動資金の主な収入源は何でしょうか。差し支えなければ 印を付けてください(最大3つ)

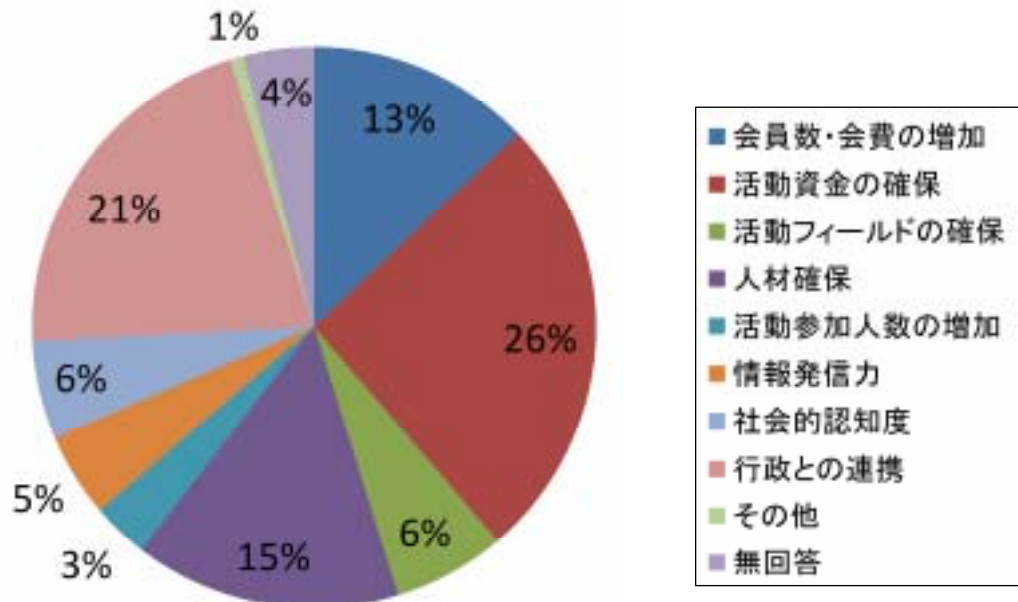
- ・ 会費が最も多く、次いで民間の助成金、寄付金となっている。行政からの補助金は少ない。



Q1-8 活動を推進するために必要だと思うことをお答え下さい。

印をつけてください。(最大3つ)

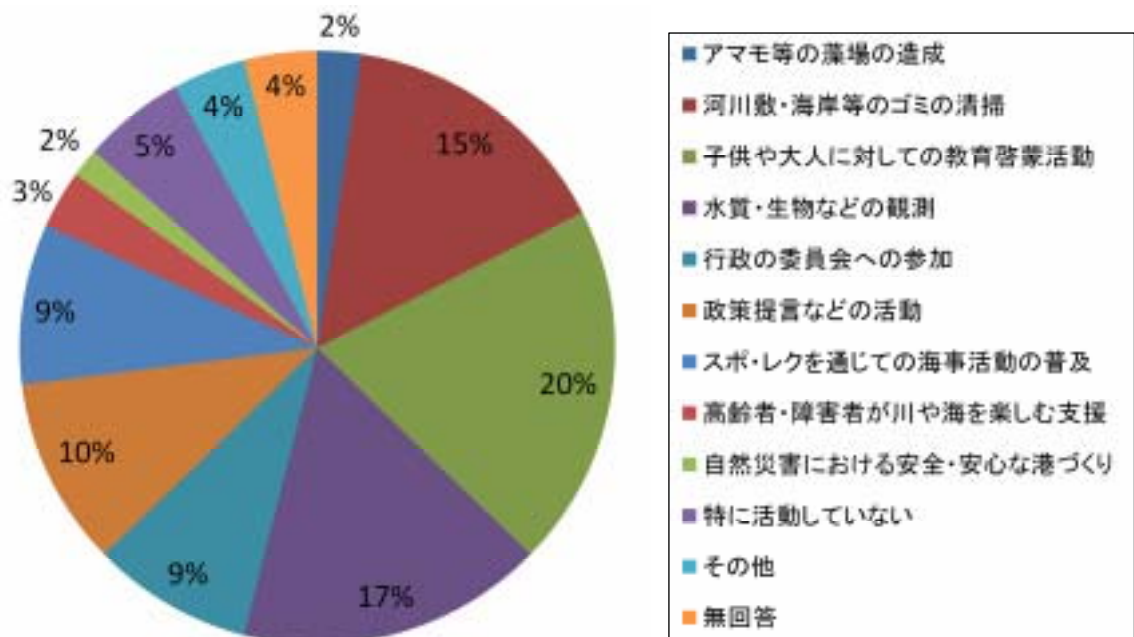
- ・ 活動資金が最も多く、次いで行政との連携、人材確保となっている。



Q1-9 NPO法人は東京湾の環境に関連して、どのような活動をしていますか。

(最大5つ)

- ・ 子供や大人に対しての教育普及活動が最も多く、次いで水質・生物などの観測、河川敷・海岸島のゴミの清掃となっている。

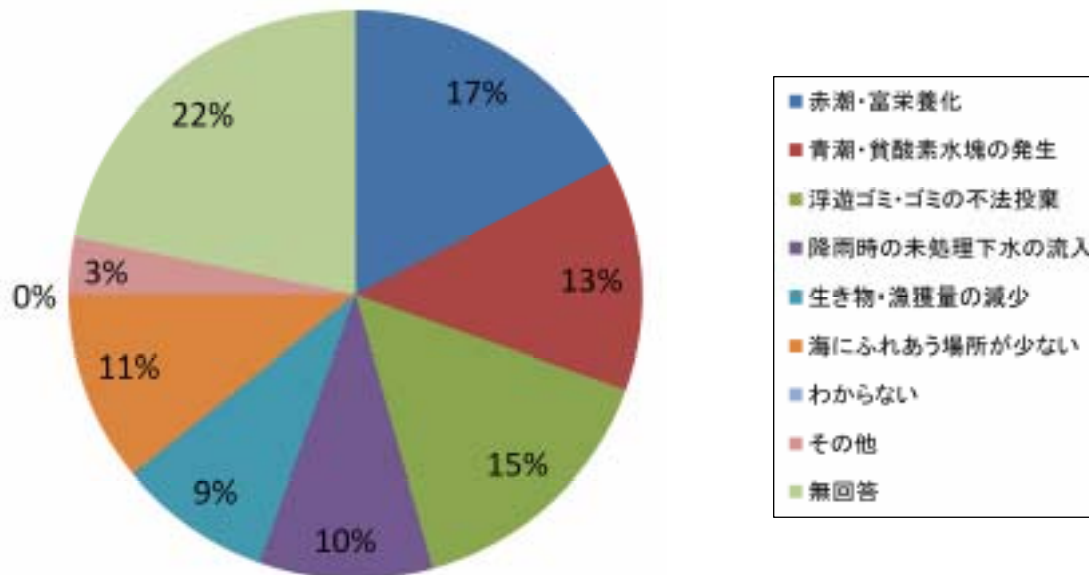


Q2 東京湾の環境についてお伺いします。

Q2-1 東京湾の環境問題で深刻だと思うものは何ですか。

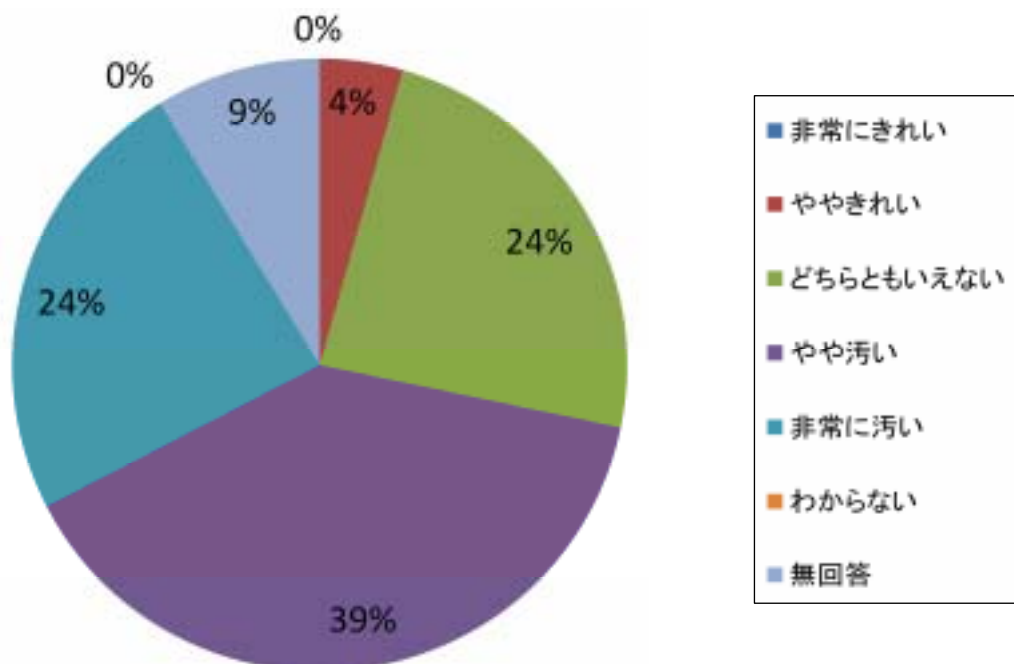
印をつけてください。(最大3つ)

- 赤潮・富栄養化が最も多く、次いで浮遊ゴミ・ゴミの不法投棄、青潮・貧酸素水塊の発生となっている。

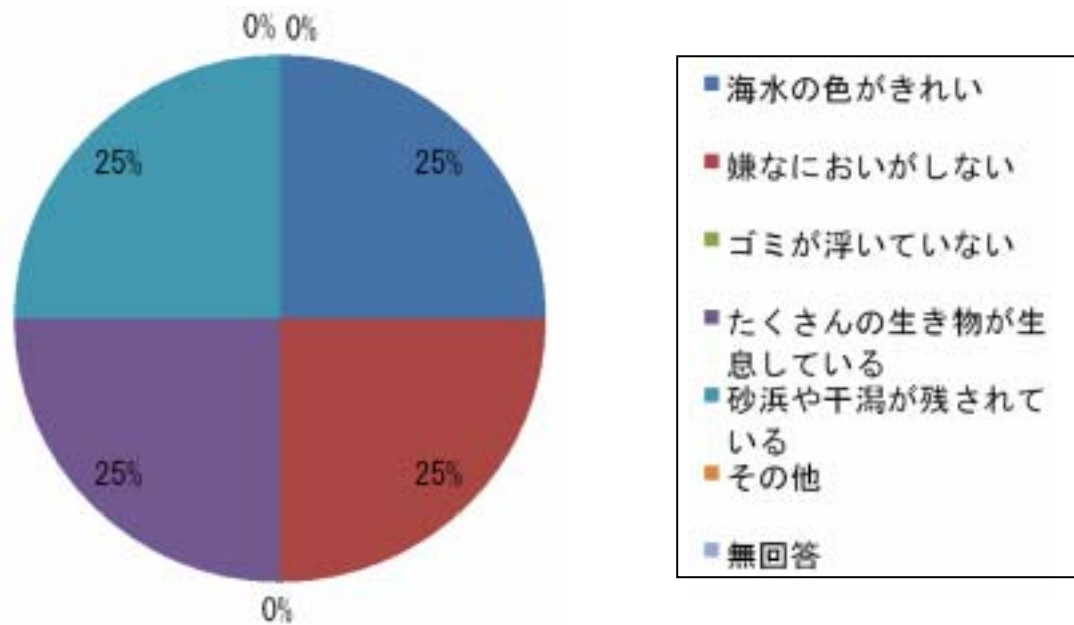


Q2-2 東京湾の水質をどのように思いますか。1つだけ 印をつけてください。

- 汚いと感じているNP0が約6割を占める。

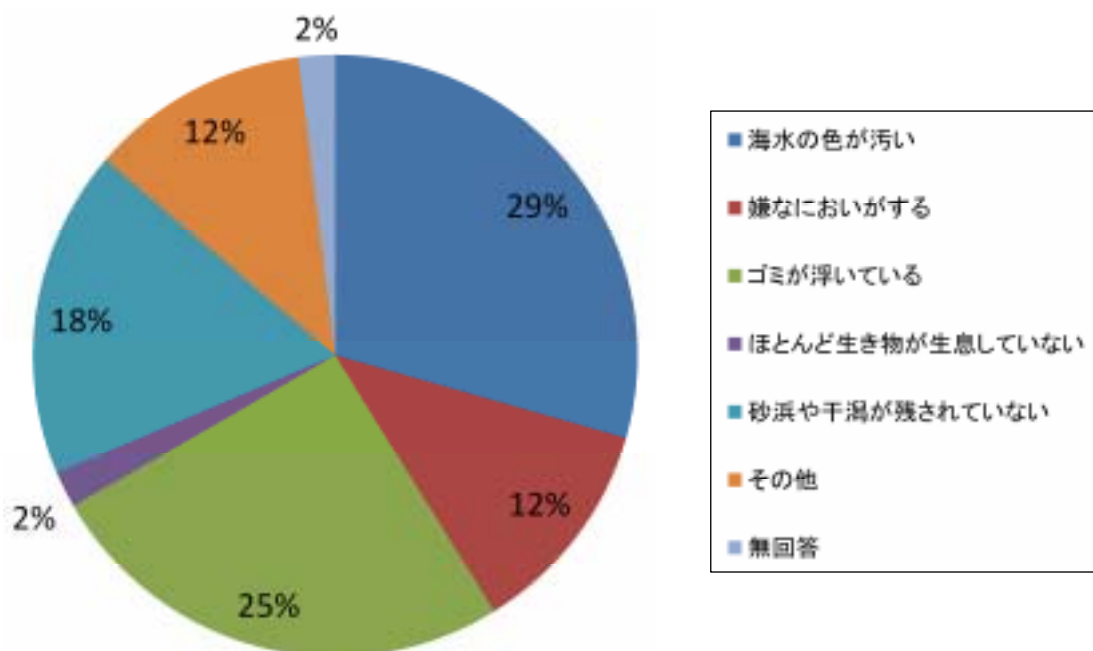


Q2-2-1 Q2-1で「非常にきれい」もしくは「ややきれい」とお答えした方におたずねします。きれいと感じる理由は何ですか。 印をつけてください。(最大2つ)
 海水の色、においがしない、たくさんの生き物がいる、砂浜や干潟が残されているが理由となっている。



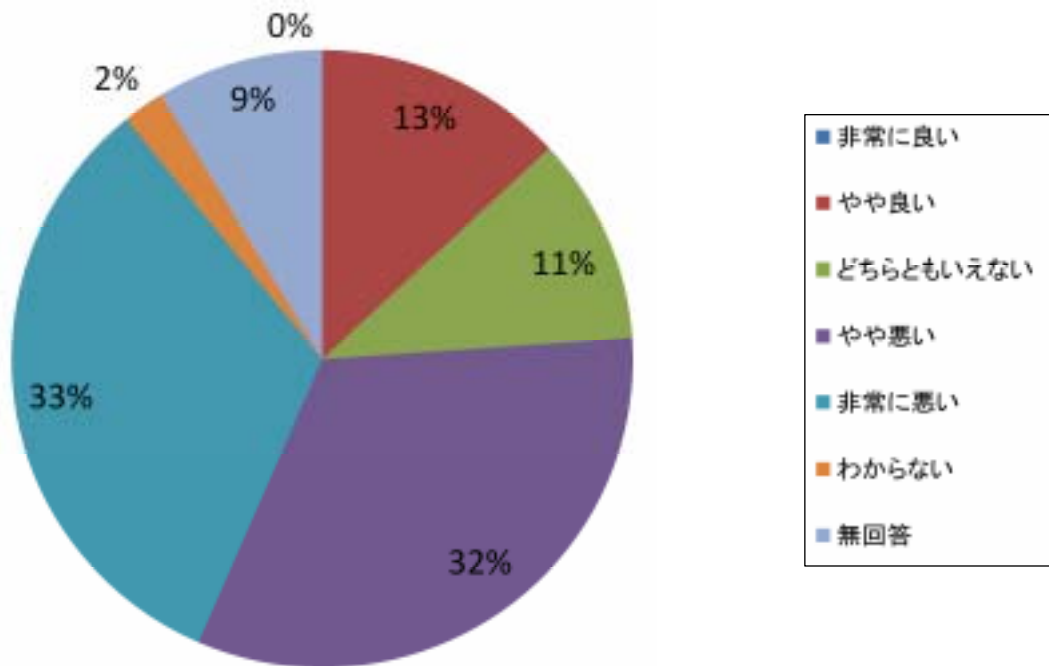
Q2-2-2 Q2-2で「やや汚い」もしくは「非常に汚い」とお答えした方におたずねします。きたないと感じる原因は何と考えていますか。 印をつけてください。(最大2つ)

- 海水の色が汚いが最も多く、ゴミが浮いている、砂浜や干潟が残されていないとなっている。



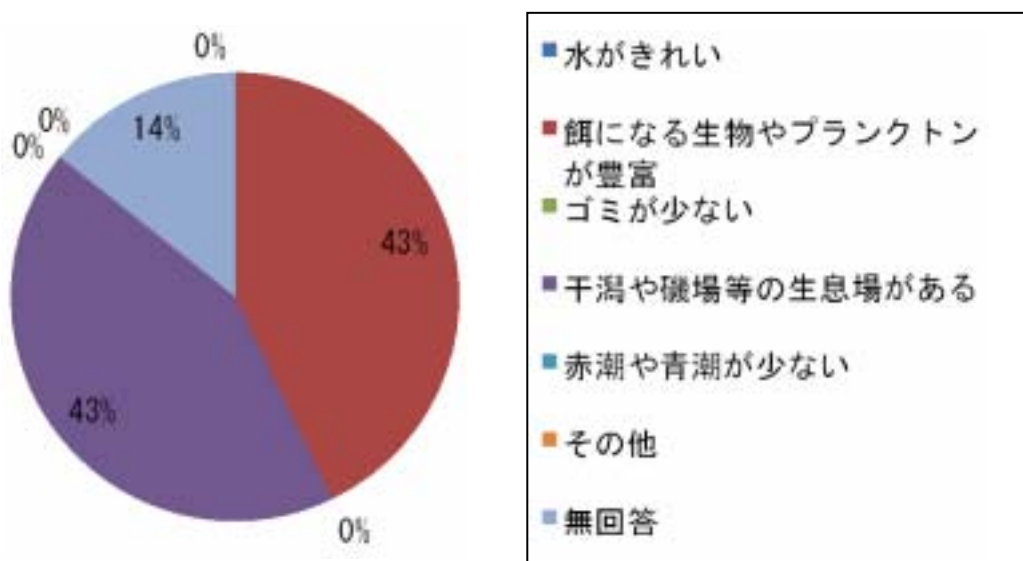
Q2-3 東京湾の生き物の生息環境についてどのように思いますか。1つだけ 印をつけてください。

- ・ 悪いが約6割を占めている。



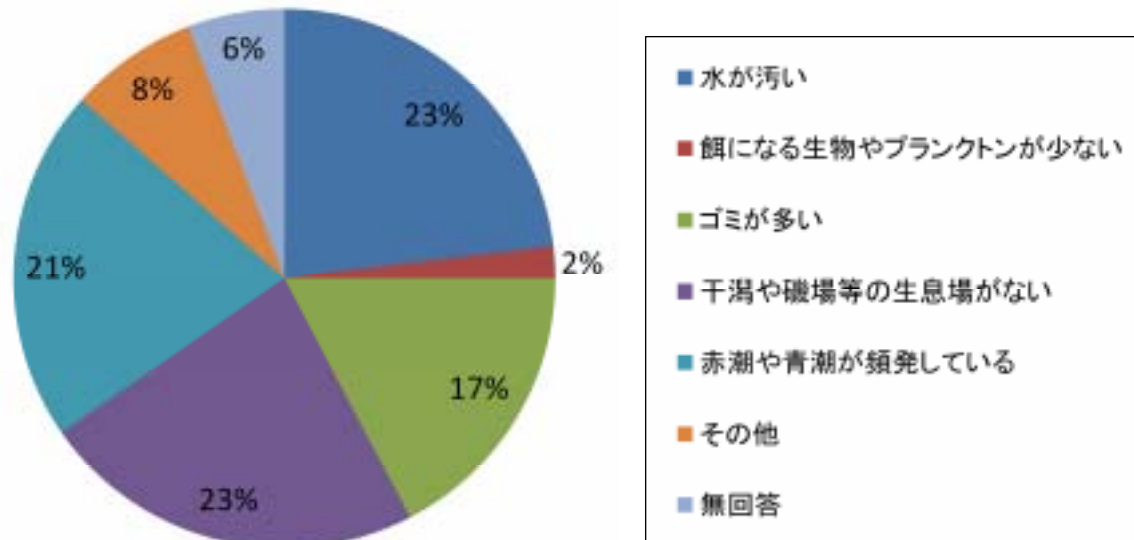
Q2-3-1 Q2-1で「非常に良い」もしくは「やや良い」とお答えした方におたずねします。良いと感じる理由は何ですか。 印をつけてください。(最大2つ)

餌となる生物やプランクトンが豊富、干潟や磯場等の生息場があるが最も多い。



Q2-3-2 Q2-3で「やや悪い」もしくは「非常に悪い」とお答えした方におたずねします。悪いと感じる理由は何ですか。 印を付けてください。(最大2つ)

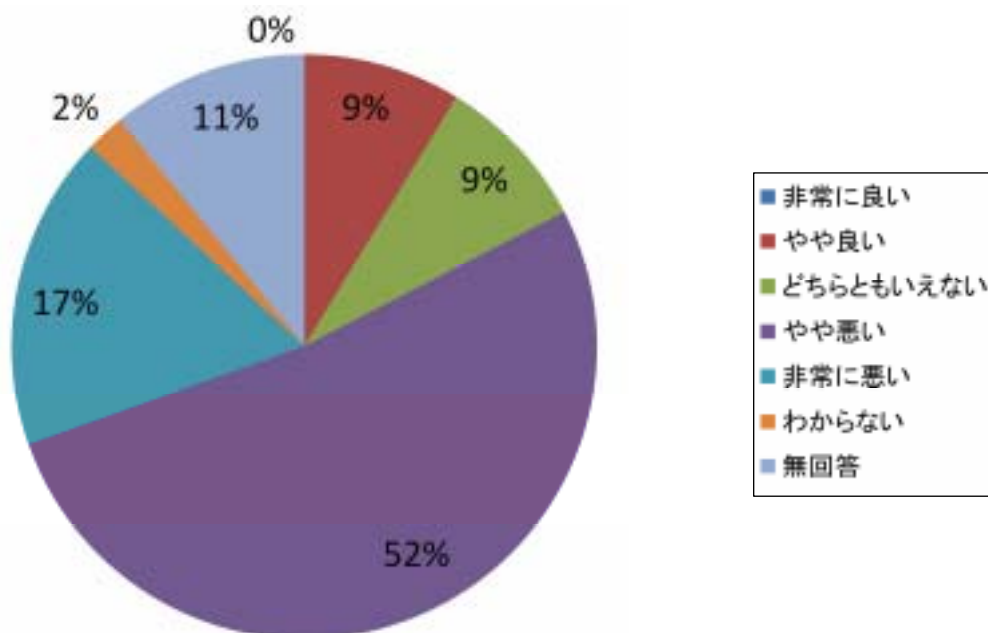
- ・ 水が汚い、干潟や磯場等の生息場がないが最も多く、次いで赤潮・青潮が頻発しているとなっている。



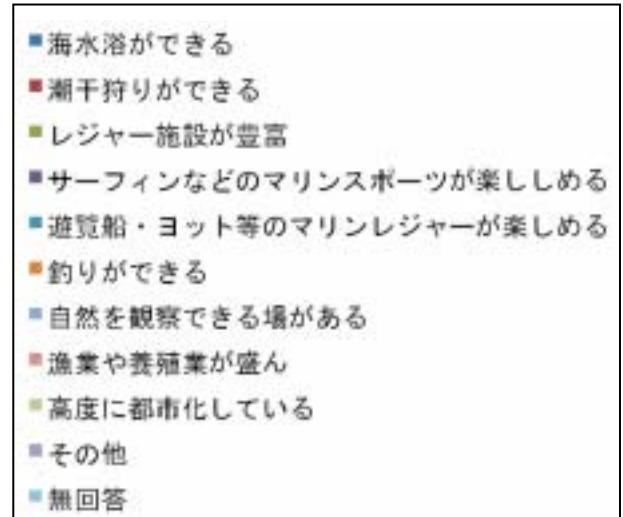
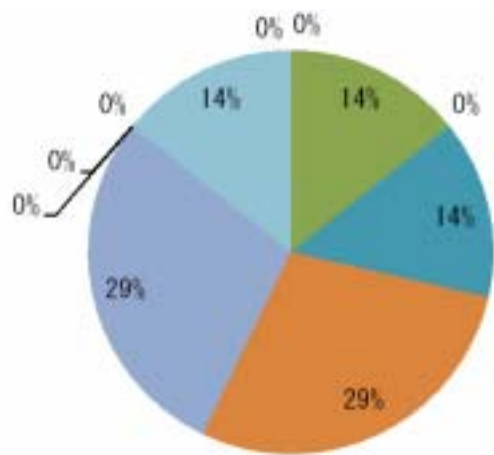
Q2-4 人々による東京湾の利用環境についてどのように感じていますか。

1つだけ 印をつけてください。

- ・ 悪いが約7割を占めている。

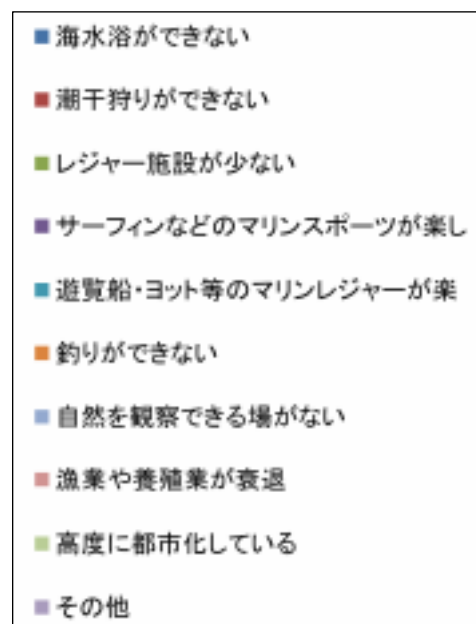
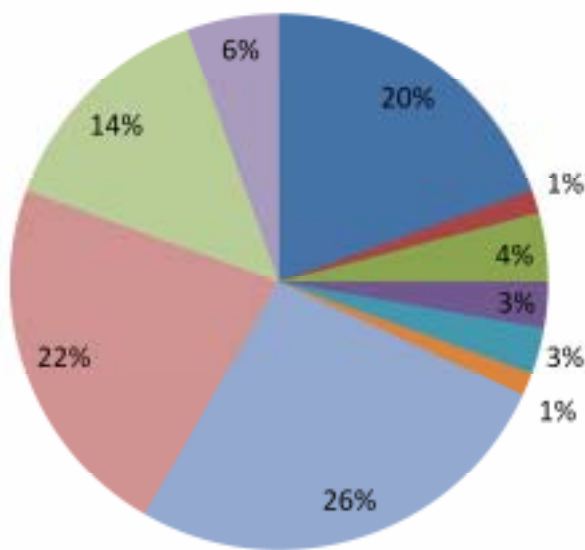


Q2-4-1 Q2-4で「非常に良い」もしくは「良い」とお答えした方におたずねします。どのようなところが良いと感じますか。 印をつけてください。(最大3つ)
釣りができる、自然を観察できる場があるが最も多い。



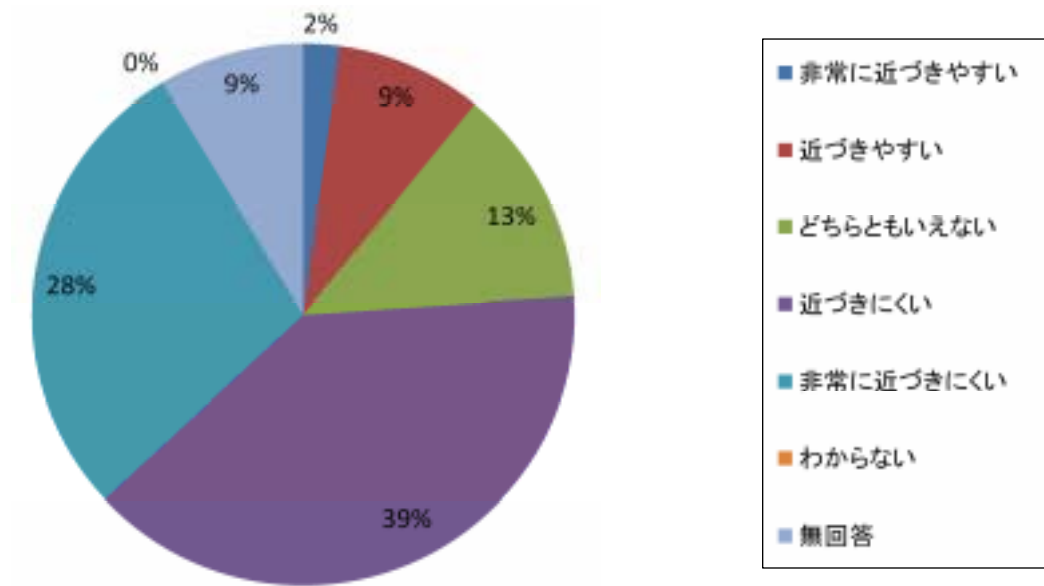
Q2-4-2 Q2-4で「悪い」と「非常に悪い」にお答えした方におたずねします。どのようなところが悪いと感じますか。 印を付けてください。(最大3つ)

- ・ 自然を観察できる場がないが最も多く、次いで漁業や養殖業が衰退、海水浴が出来ないとなっている。



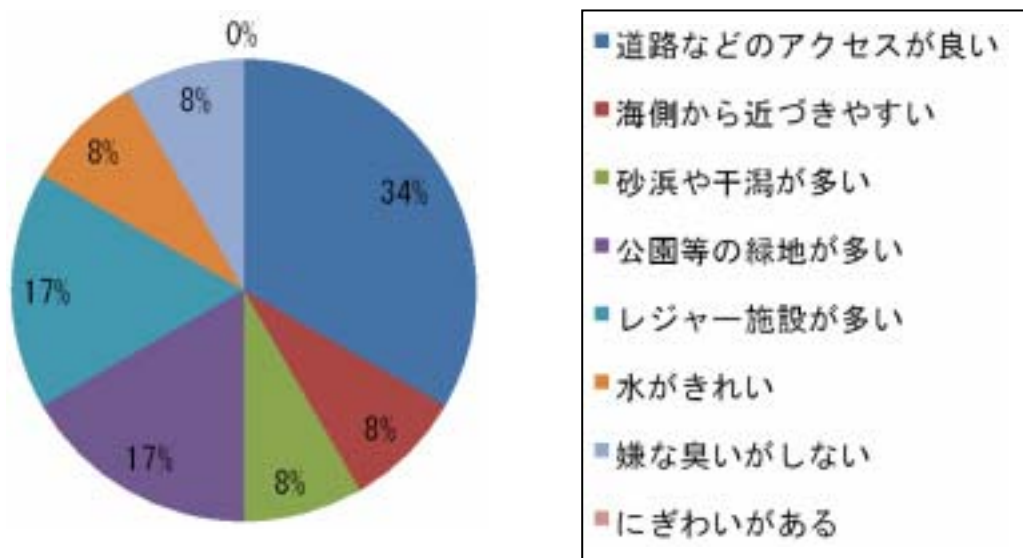
Q2-5 東京湾の海辺への近づきやすさについてどう思いますか。1つだけ 印をつけてください。

- ・ 近づきにくいのが約7割を占めている。



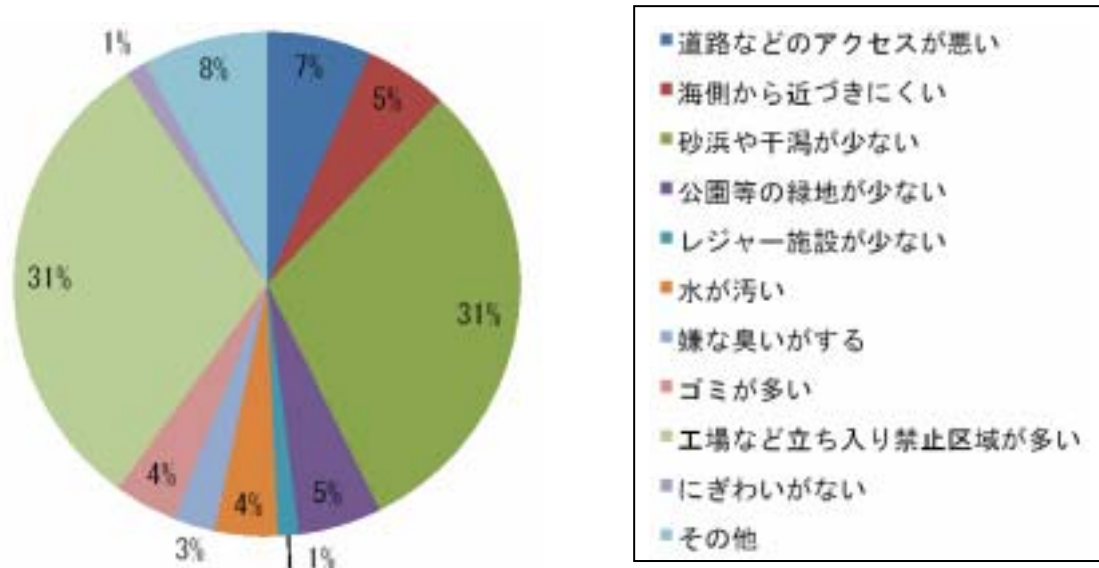
Q2-5-1 Q2-5で「非常に近づきやすい」もしくは「近づきやすい」とお答えした方におたずねします。どのようなところが良いと感じますか。 印をつけてください。(最大3つ)

道路などのアクセスが良いが最も多く、次いで公園等の緑地が多い、レジャー施設が多いとなっている。



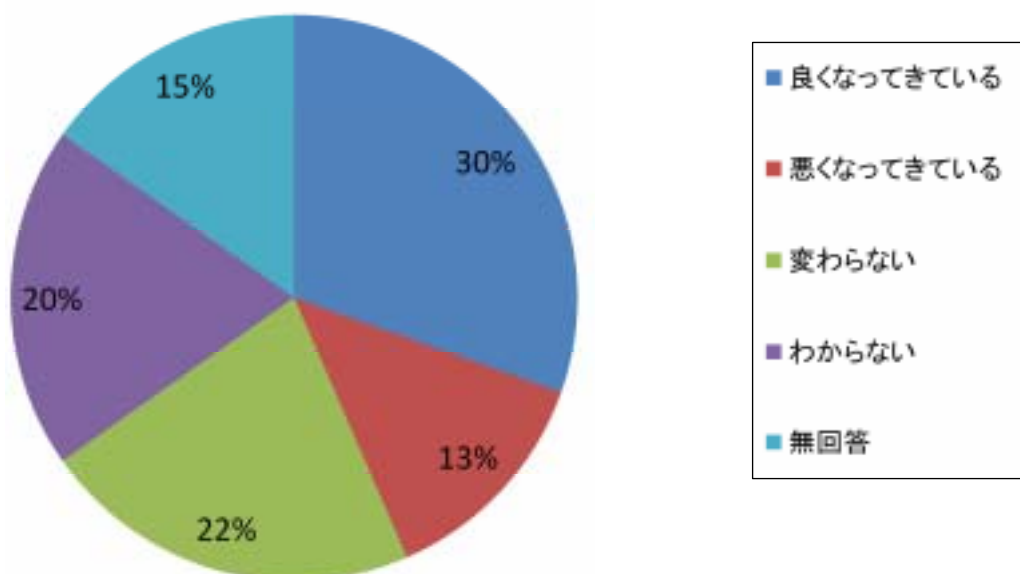
Q2-5-2 Q2-5で「近づきにくい」もしくは「非常に近づきにくい」にお答えした方におたずねします。どうして近づきにくいと感じるのですか。印をつけてください。(最大3つ)

砂浜や干潟が少ないと工場などの立ち入り禁止区域が多いが最も多い。



Q2-6 貴NPO法人の活動を通じて、東京湾の環境についてどのように感じますか。

- ・良くなってきているが最も多いが、変わらない、わからないも多い。



Q2-6-1 Q2-6で回答したことで感じる理由をお答え下さい。

Q2-6で感じたことを返答したNPOの意見を集約すると以下のとおり。

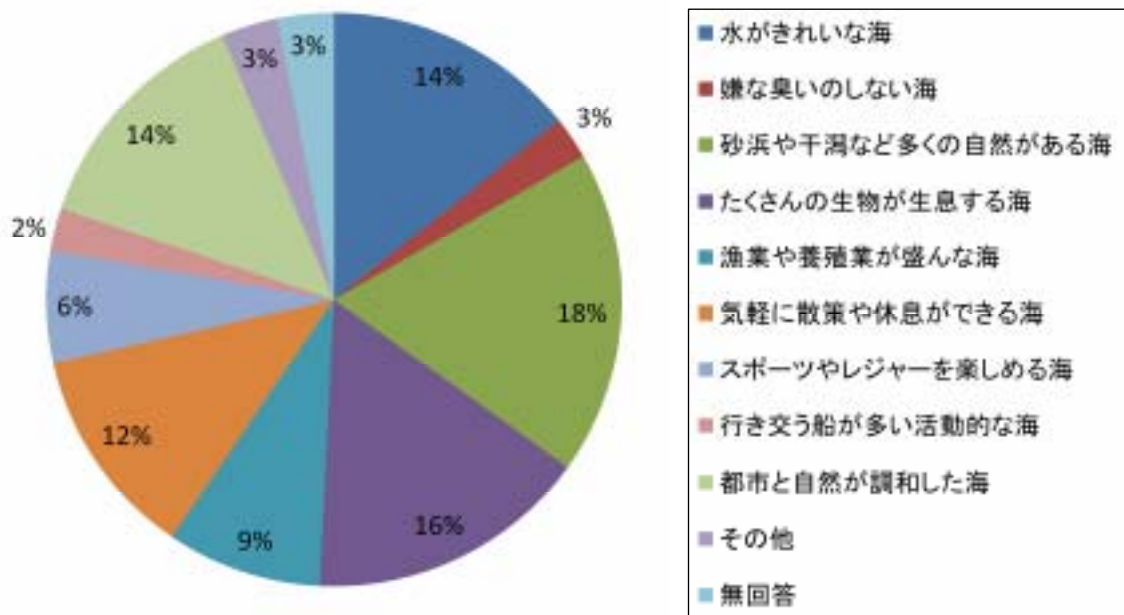
項目	内容
良くなっている	<ul style="list-style-type: none">・ゴミの減少・水質が改善・生物が見られる
悪くなっている	<ul style="list-style-type: none">・水質が改善されていない・河川流域からの流入物や流入水質が問題・夏場の青潮や貧酸素塊によるアサリの斃死・護岸がコンクリート化
変わらない	<ul style="list-style-type: none">・ゴミの不法投棄が多い・東京湾に近づけない・湾内の食物連鎖を改善するためのプロジェクト及び検証可能なモデル事業の導入

Q3 貴NPO法人が望む東京湾についておたずねします。

Q3-1 NPO法人として望む東京湾の将来像はどのような海ですか。

印をつけてください。(最大3つ)

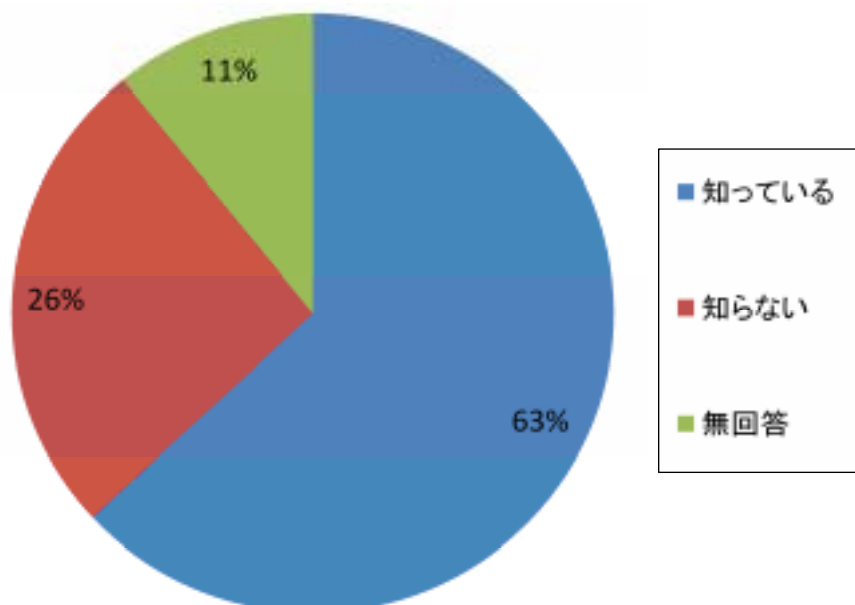
- ・ 砂浜や干潟など多くの自然がある海が最も多く、次いでたくさんの生物が生息する海、水がきれいな海、都市と自然が調和した海となっている。



Q4 行政の取り組みについておたずねします。

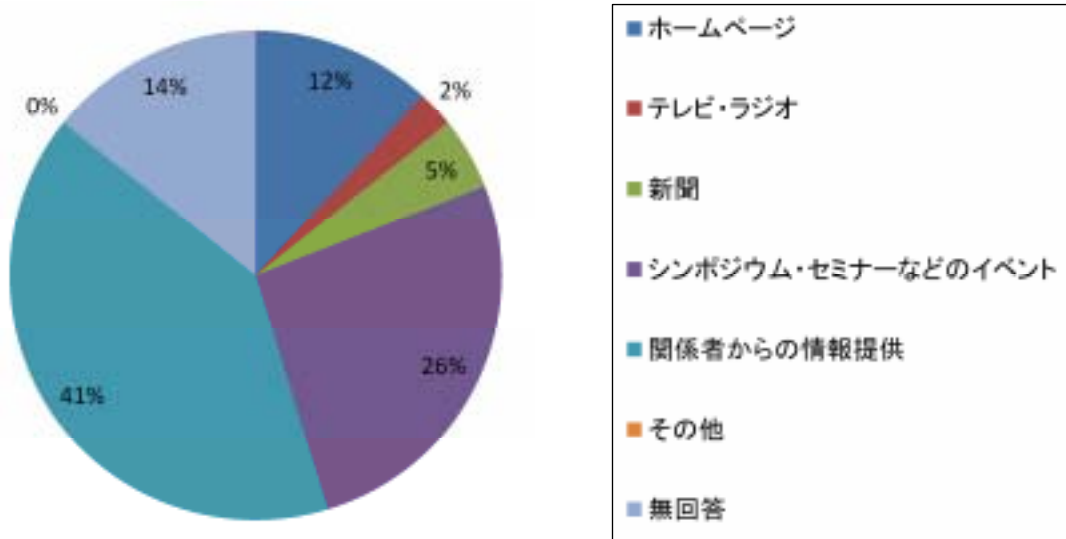
Q4-1 東京湾に関係する省庁、地方公共団体が「東京湾再生推進会議」を設置して、東京湾再生に取り組んでいることを知っていますか。

- ・ 知っているが約6割となっているが、知らないとの回答も多い。



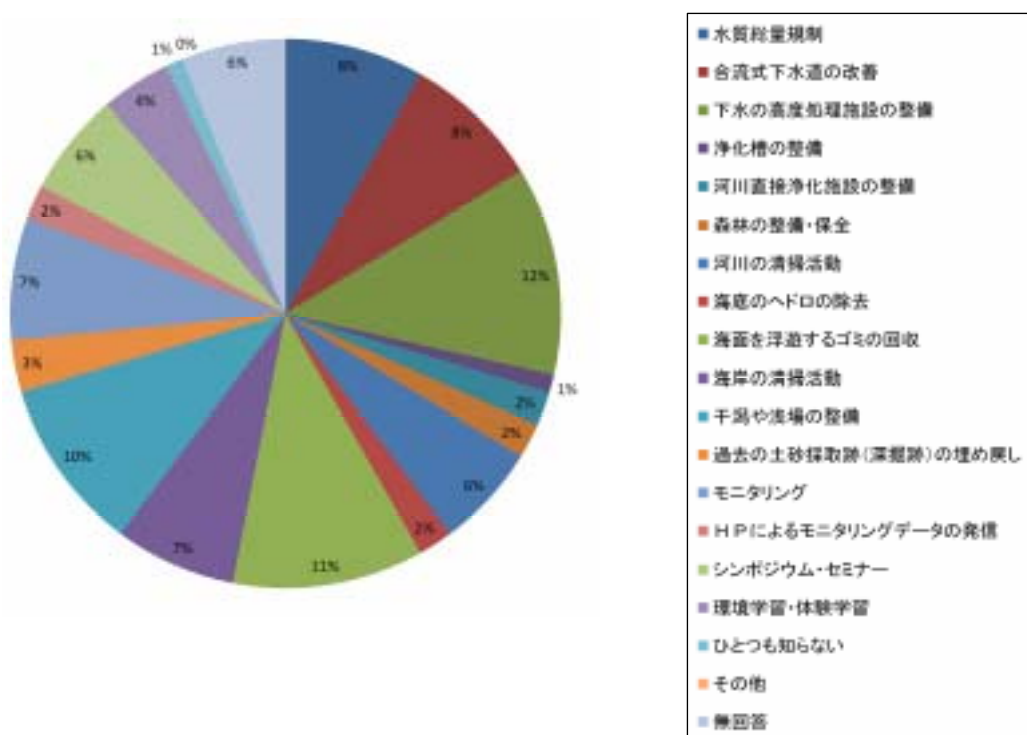
Q4-1-1 Q4-1で「知っている」と答えた方におたずねします。どのようなかたちで東京湾再生の取り組みを知りましたか。 印をつけてください。(最大2つ)

- ・ 関係者からの情報提供が最も多く、次いでシンポジウム・セミナーなどのイベント、ホームページとなっている。
- ・



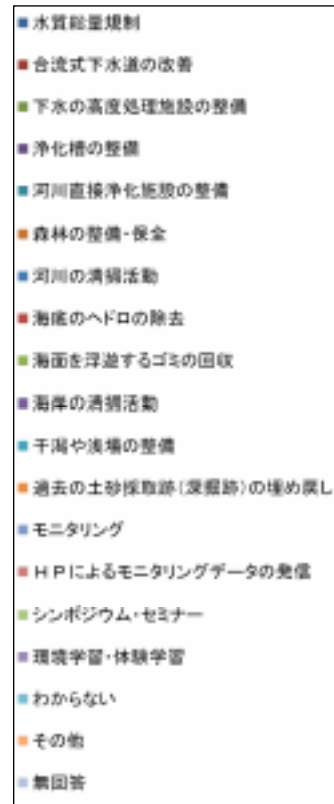
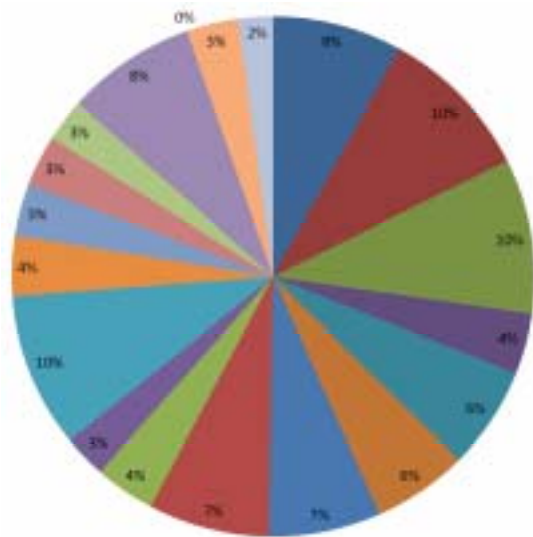
Q4-1-2 Q4-1で「知っている」と答えた方におたずねします。東京湾再生の取り組みのうち、どの取り組みを知っていますか。 印をつけてください。(最大5つ)

- ・ 下水の高度処理施設の整備、海面を浮遊するゴミの回収、干潟や浅場の整備が多いが、大きな差は見られない。



Q4-2 東京湾再生のために行政が積極的に行うべき取り組みはどれだと考えますか。 印をつけてください。(最大5つ)

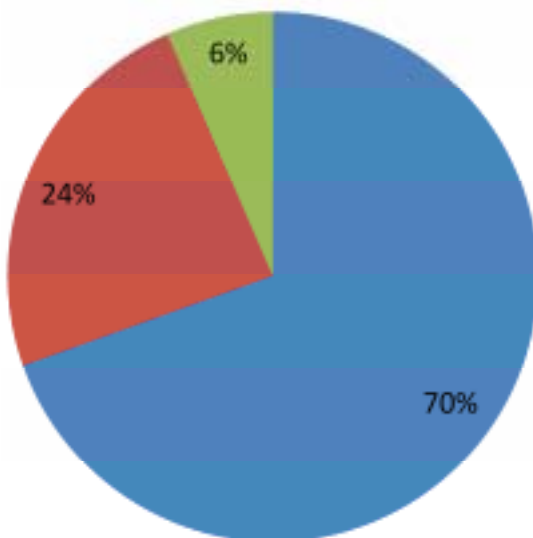
- 合流式下水道の改善、下水の高度処理施設の整備、干潟や藻場の整備が多いが大きな差は見られない。



Q5 行政との連携についておたずねします。

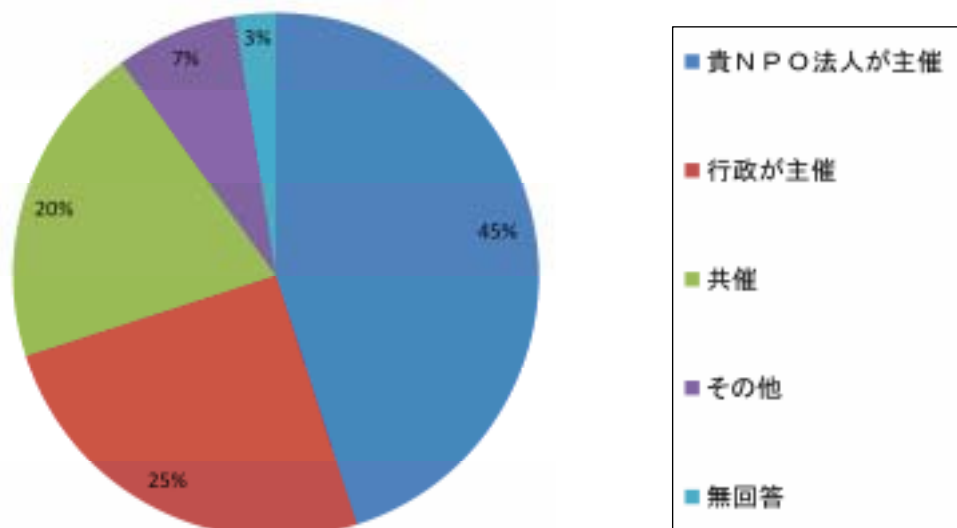
Q5-1 これまでに行政と連携した取り組みを行ったことがありますか。1つだけ 印を付けてください。

- 約7割のNPOが行政と連携した取り組みを行ったことがある。



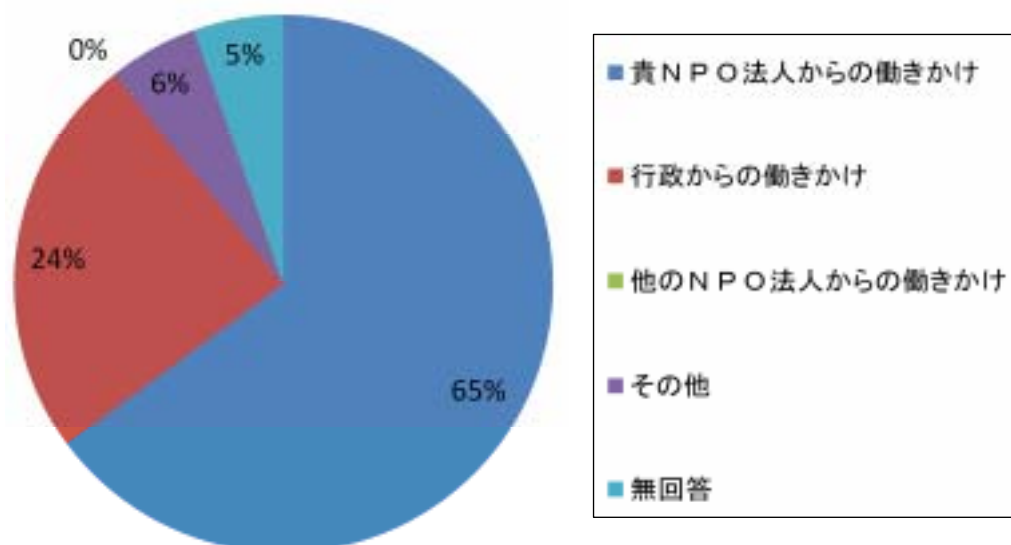
Q5-1-1 Q5-1で「はい」に をつけた方におたずねします。取り組みの主催はどちらですか。

- ・ NPO法人が主催が最も多く、次いで行政が主催、共催となっている。



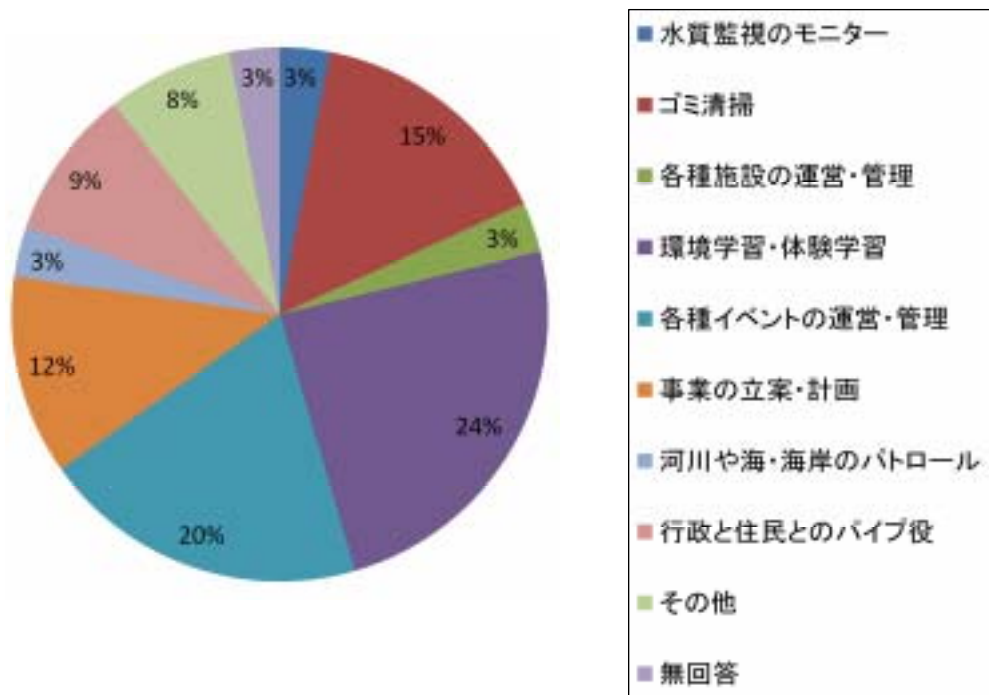
Q5-1-2 Q5-1で「はい」に をつけた方におたずねします。行政と連携したきっかけは何ですか。

- ・ NPO法人からの働きかけが6割以上となっており、行政からの働きかけは少ない。



Q5-1-3 Q5-1で「はい」に をつけた方におたずねします。どのような取り組みを
しましたか。 印をつけてください。(最大3つ)

- ・ 環境学習・体験学習が最も多く、次いで各種イベントの運営・管理、ゴミ清掃
となっている。



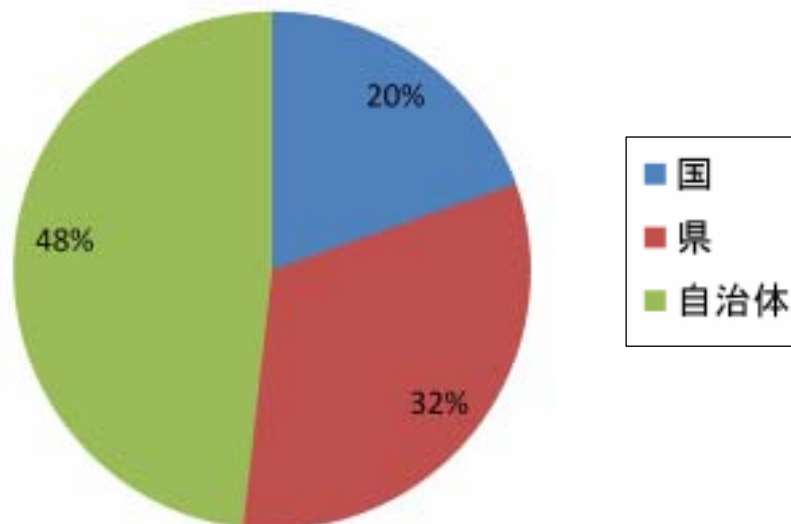
Q5-1-4 Q5-1で「はい」に を付けた方におたずねします。行政と連携したことのメリット・デメリットをお書きください。

- ・ 回答のあったNPOの意見を集約すると以下のとおり。

内容	メリット	デメリット
行政との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ 許認可が得られやすい ・ 他団体との調整が容易 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 制約が多く、動きが遅い ・ 自由度が少ない ・ 事業の継続性が乏しい
情報伝達	<ul style="list-style-type: none"> ・ スムーズ ・ 直接意志を伝えられる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 時間がかかる ・ ノウハウ、発想がとられる
社会認知	<ul style="list-style-type: none"> ・ 団体の認知度が向上 ・ 社会貢献 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 祭日等での行政参加が困難

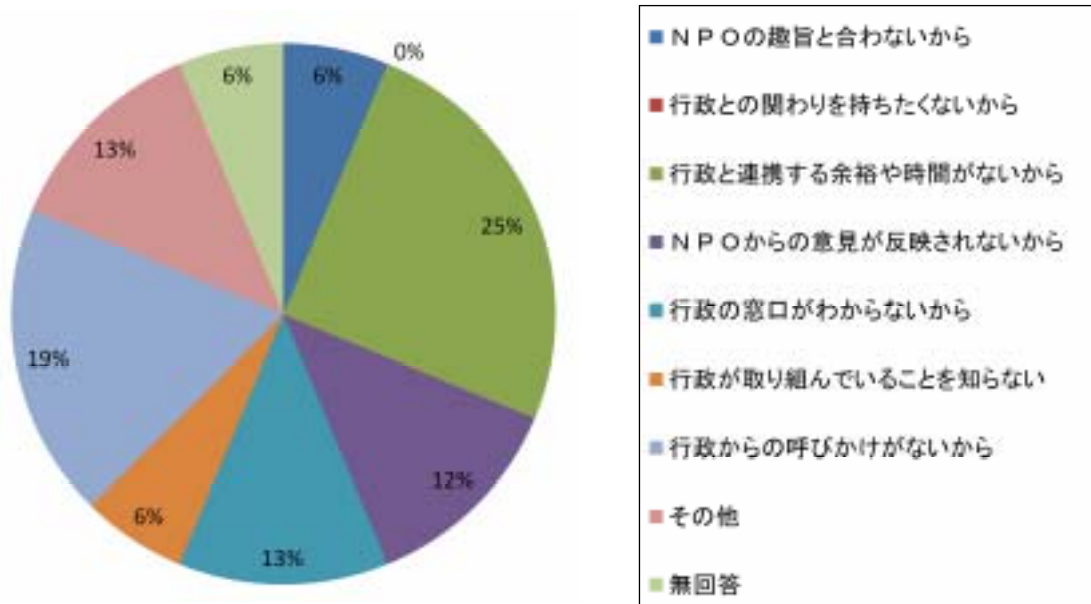
Q5-1-5 Q5-1で「はい」に をつけた方におたずねします。連携した行政機関名をお答え下さい。(複数可)

- ・ 自治体(市町村)が最も多く、次いで県、国となっている。



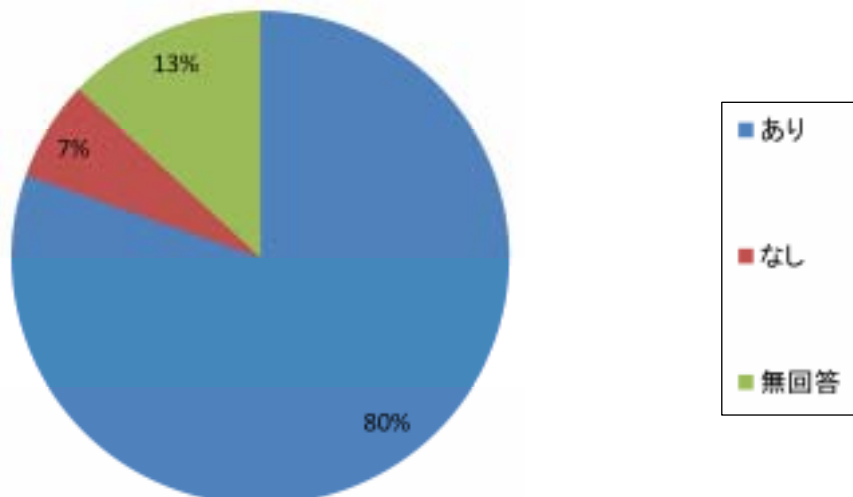
Q5-1-6 Q5-1で「いいえ」に をつけた方におたずねします。どのような理由からでしょうか。 印をつけてください。(最大3つ)

- 行政と連携する余裕や時間がないからが最も多く、次いで行政からの呼びかけがないから、行政の窓口がわからないからとなっている。



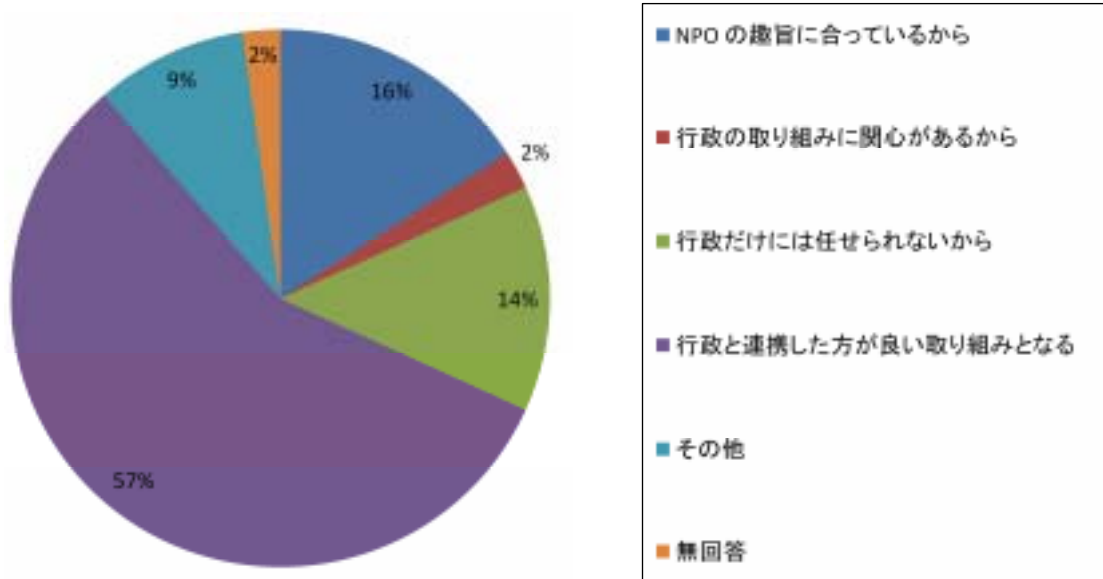
Q5-2 今後、行政と連携した取り組みを行いたいと思いますか。

- 約8割のNPOが行政と連携した取り組みを行いたいと考えている。



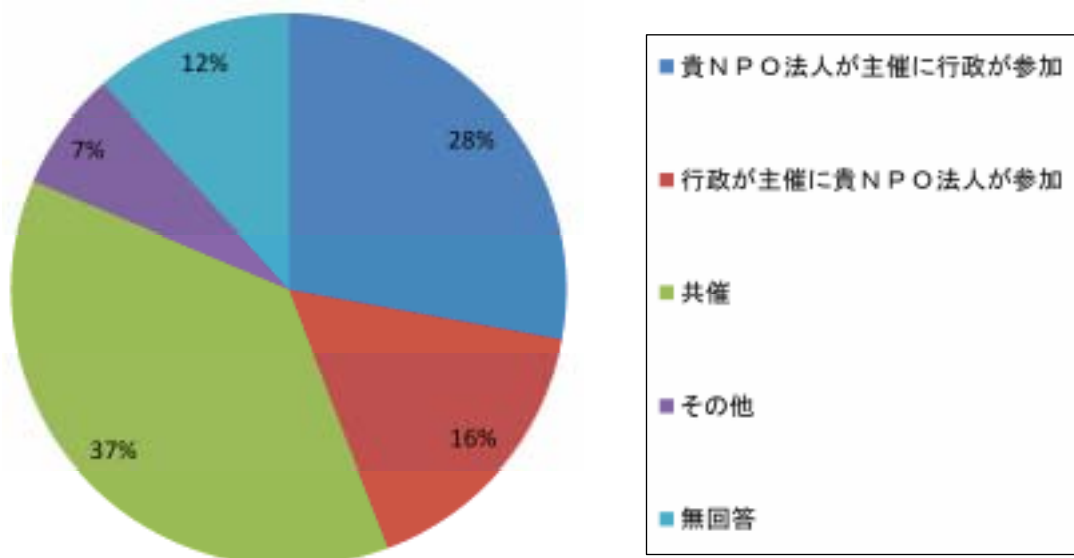
Q5-2-1 Q5-2で「はい」に をつけた方におたずねします。連携した取り組みを行いたいと思う理由は何ですか。 印をつけてください。

- 行政と連携した方が良い取り組みとなるが最も多く、次いでNPOの趣旨にあっているから、行政だけには任せられないからとなっている。



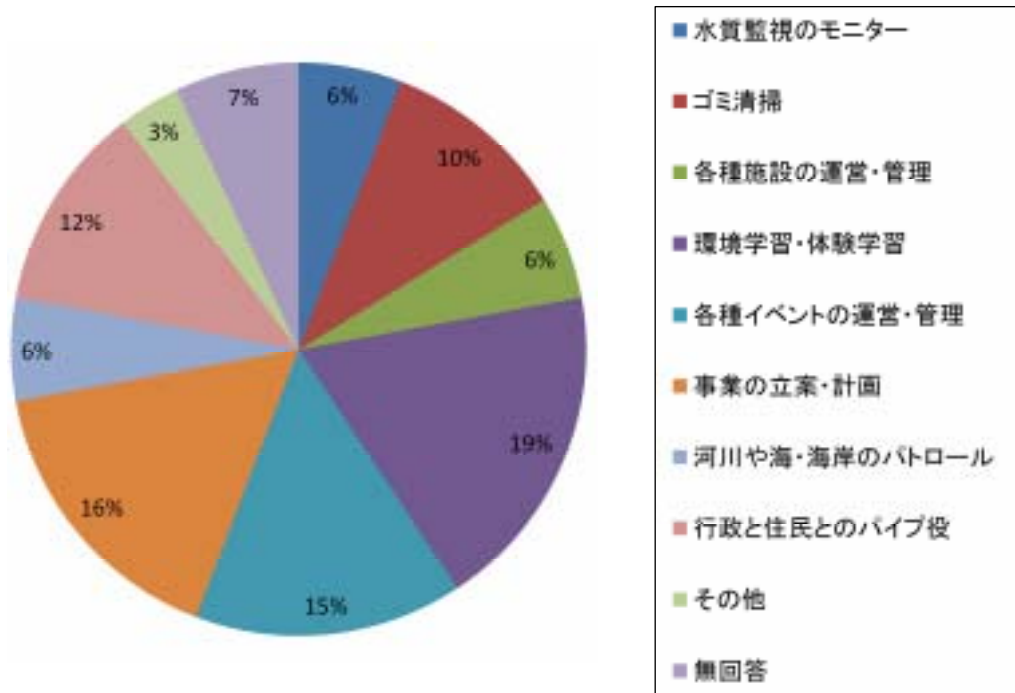
Q5-2-2 Q5-2で「はい」に をつけた方におたずねします。どのような取り組みの形態を考えていますか。

- 共催が最も多く、次いでNPO法人が主催に行政が参加、行政が主催にNPO法人が参加となっている。



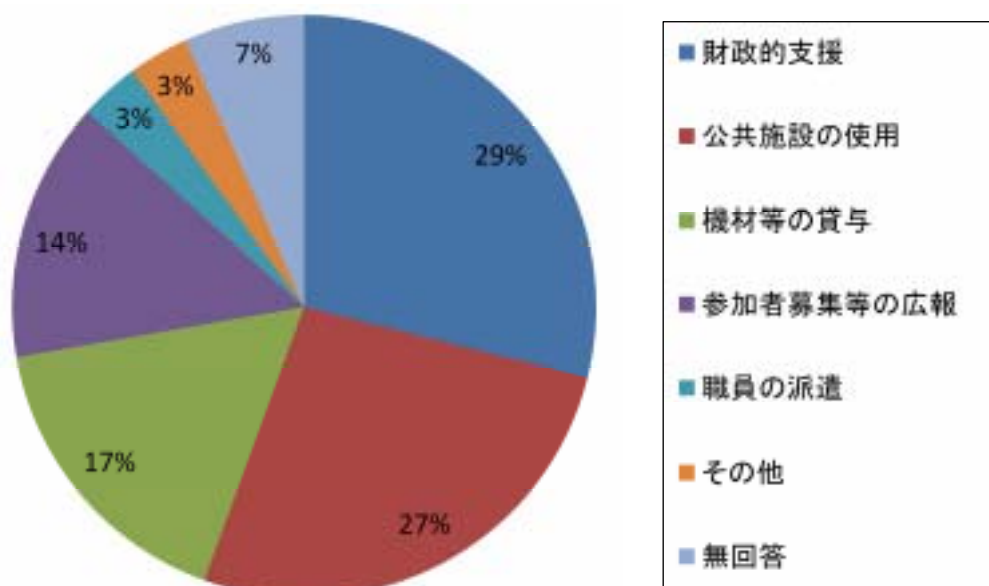
Q5-2-3 Q5-2で「はい」と答えた方におたずねします。どのような取り組みを行いたいですか。 印をつけてください。(最大3つ)

- ・ 環境学習・体験学習が最も多く、次いで事業の立案・計画、各種イベントの運営・管理となっている。



Q5-2-4 Q5-2で「はい」に をつけた方におたずねします。今後、行政との連携を図ろうとした場合、行政に対しどういった支援を求めますか。 印をつけてください。(最大3つ)

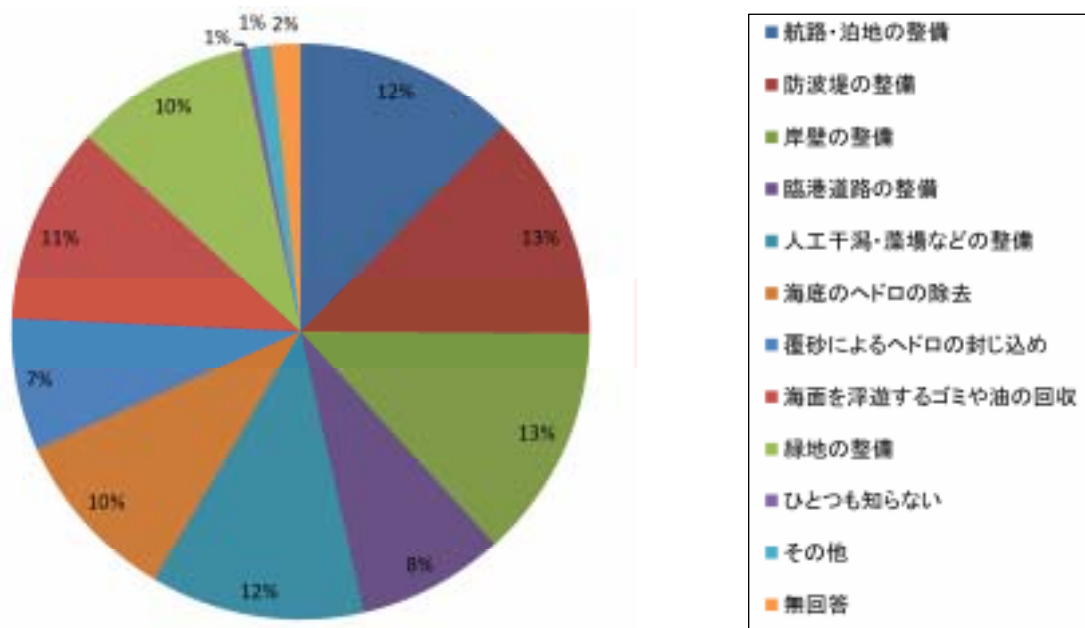
- ・ 財政的支援が最も多く、次いで公共施設の使用、機材等の貸与となっている。



Q6 東京湾における港湾整備についておたずねします。

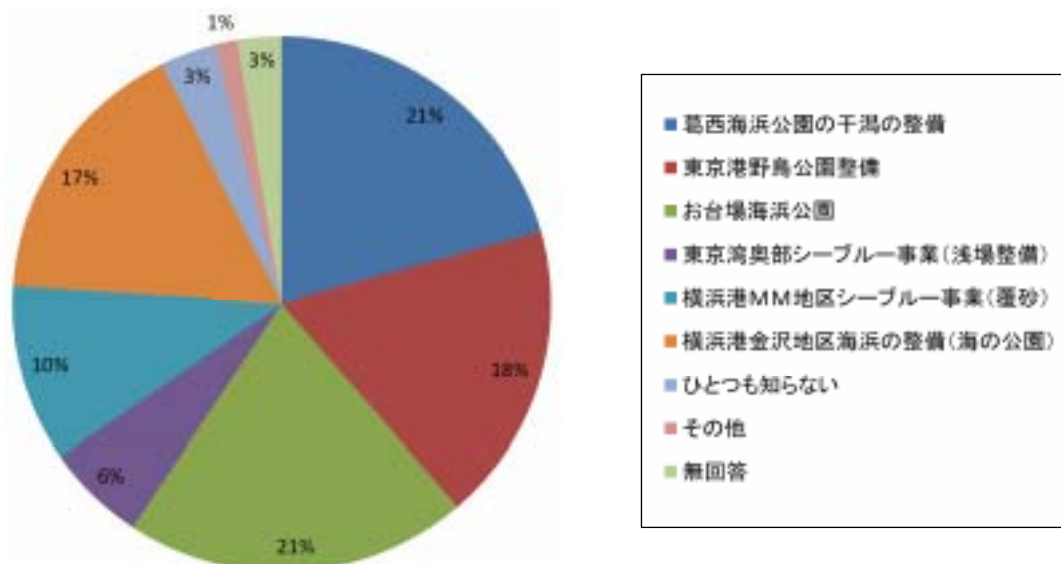
Q6-1 港湾整備事業のうちどれを知っていますか。知っているものすべてに 印を付けてください。

- 防波堤の整備、岸壁の整備、人工干潟・藻場などの整備が多いが、大きな差は見られない。



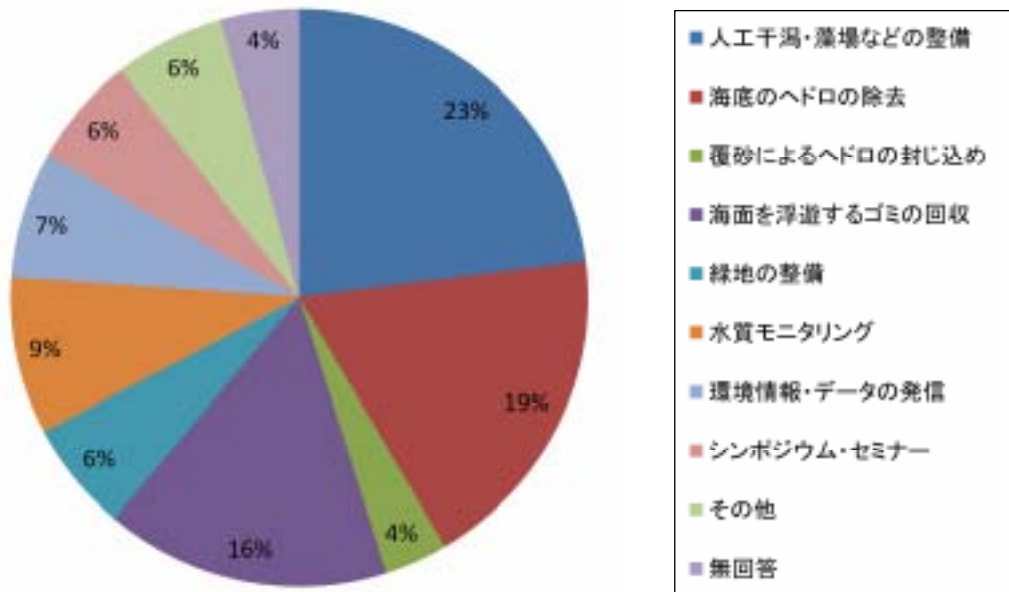
Q6-2 港湾整備の一環として行われた下記のうち、どれを知っていますか。知っているものすべてに 印を付けてください。

- 葛西海浜公園の干潟の整備、お台場海浜公園、東京港野鳥公園整備、横浜港金沢地区海浜の整備（海の公園）が多いが、大きな差は見られない。



Q6-3 東京湾再生のために港湾ではどのような取り組みを積極的に実施するべきだと思いますか。 印を付けてください。(最大3つ)

- ・ 人工干潟・藻場などの整備が最も多く、次いで海底のヘドロの除去、海面を浮遊するゴミの回収となっている。



Q6-4 その他、港湾における環境行政に関してご意見をお寄せください。

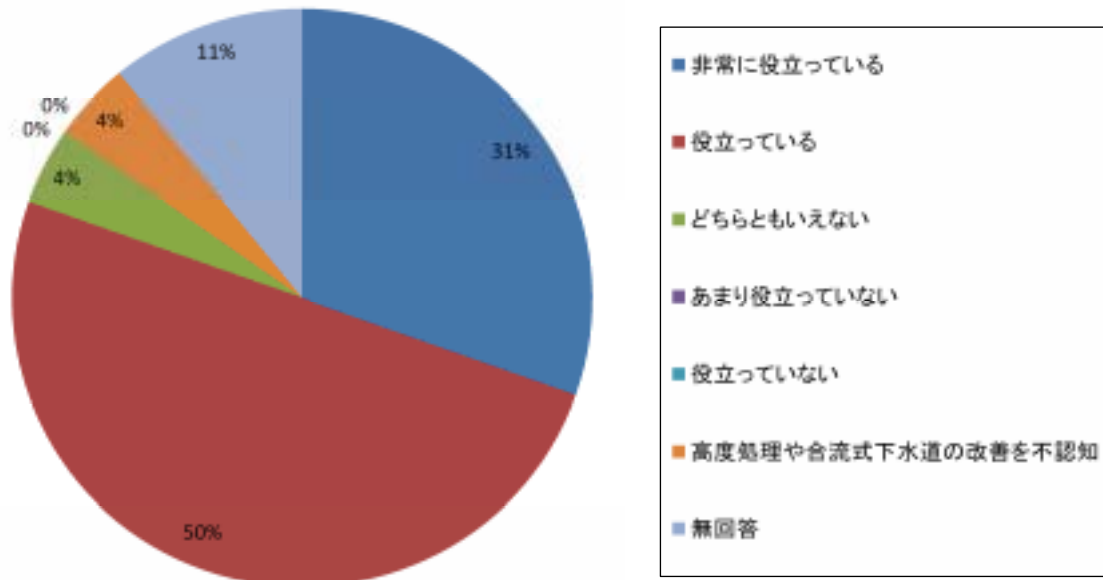
意見を集約すると以下のとおりとなる。

- ・ 自然再生会議では栄養塩の回収の視点が抜けている。
- ・ 他省庁との連携を密にするべきである。河川と比べると弱い。
- ・ 東京湾再生に向けた広報活動をもっとすべきである。
- ・ 自然の回復を進めていく必要がある。

Q7 東京湾流域における下水道整備についておたずねします。

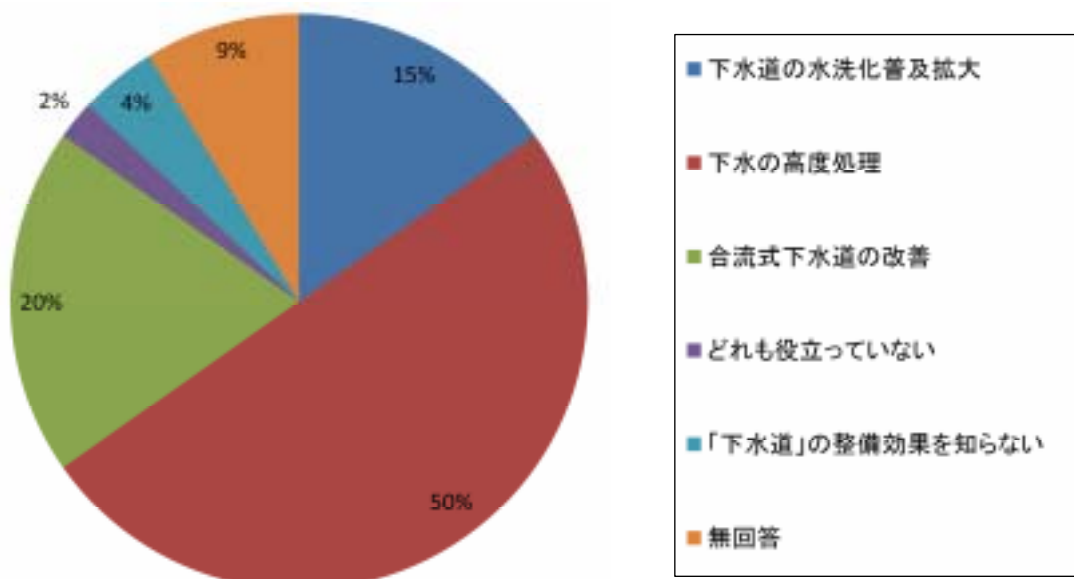
Q7-1 あなたの街や東京湾における下水を高度処理する施設の整備や、合流式下水道の改善が、東京湾再生にどの程度役に立っているとおもいますか。1つだけ 印を付けてください。

- ・ 約8割の団体が役に立っていると考えている。



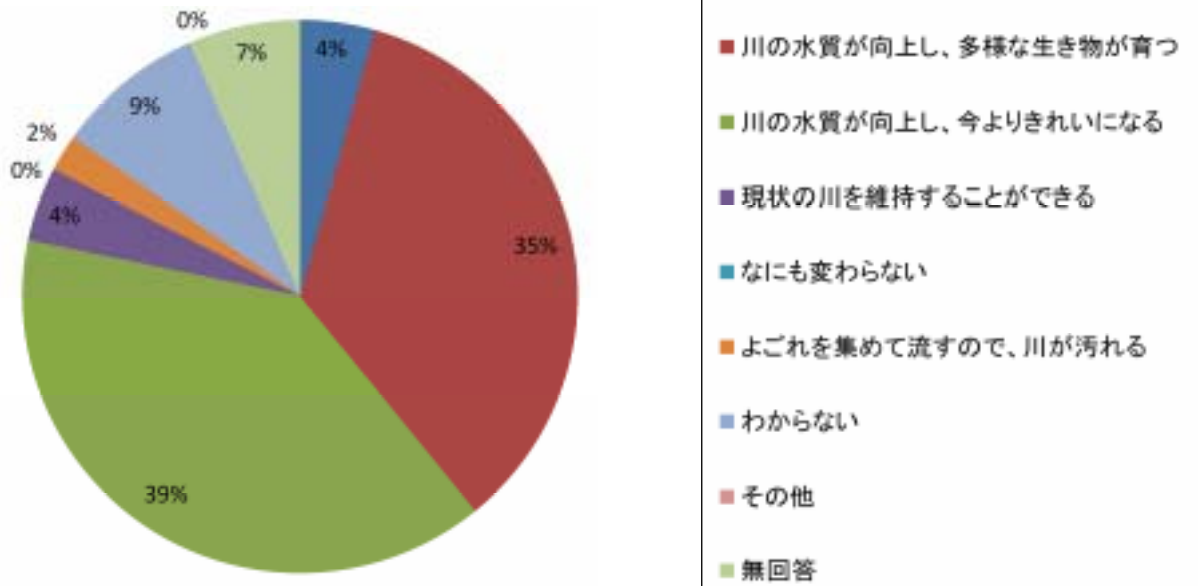
Q7-2 あなたの街の水環境保全を目的とした下水道事業のなかで、どのような施策が東京湾再生に一番役に立っているとおもいますか。1つだけ 印を付けてください。

- ・ 下水の高度処理が最も多く、次いで合流式下水道の改善、下水道の水洗化普及拡大となっている。



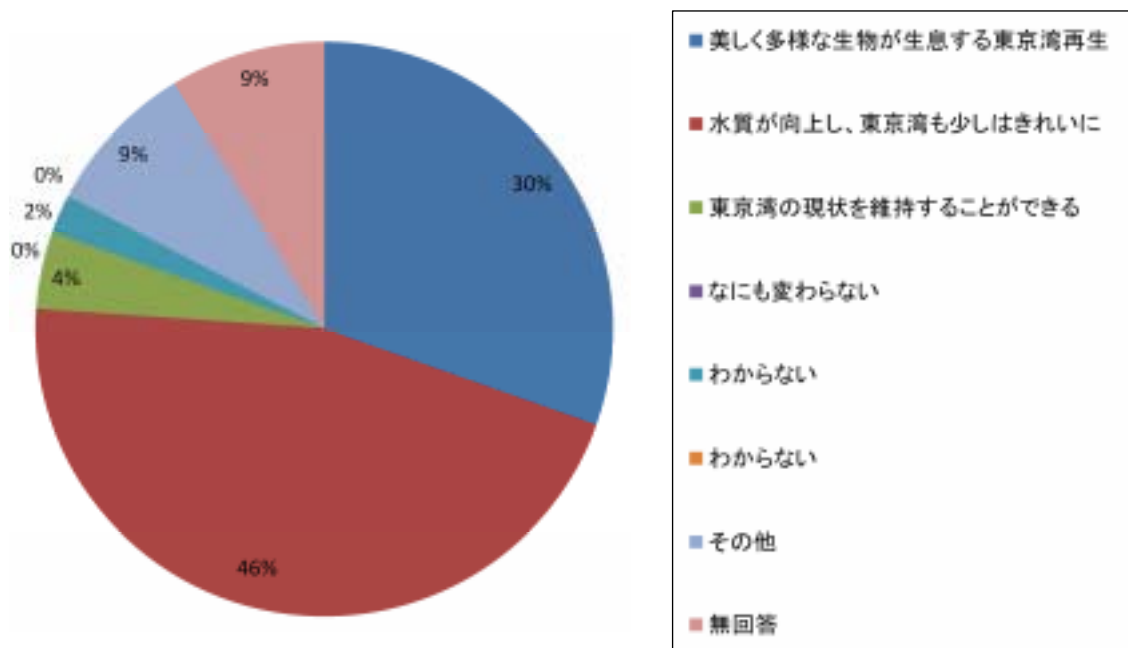
Q7-3-1 あなたの街で下水道が整備されると東京湾はどのように変わるとお考えですか。1つだけ 印を付けてください。

- ・ 川の水質が向上し、今よりきれいになると川の生物が育つが約7割を占めている。



Q7-3-2 あなたの街で下水道が整備されると東京湾はどのように変わるとお考えですか。1つだけ 印を付けてください。

- ・ 水質が向上し、東京湾も少しはきれいになるが最も多く、次いで美しく多様な生物が生息する東京湾再生となっている。



Q7-4 その他、東京湾流域における下水道整備に関してご意見をお寄せください。意見を集約すると以下のとおりとなる。

- ・ 自然の浄化機能を考慮した水質改善の議論をしてもらいたい。
- ・ 河川水量を維持した下水道整備が必要である。
- ・ 下水道法に海の栄養塩の回収も入れていくべきである。
- ・ 住民意識の改善が必要である。